

病院薬剤師卒後研修プログラム概要版

病院名 独立行政法人国立病院機構 水戸医療センター
所在地 東茨城郡茨城町桜の郷 280

1 プログラムの名称

水戸医療センター卒後研修プログラム

2 プログラムの目的と特色

薬学生の指導が行えるとともに、病院薬剤師としての基本的能力を身につけそれを基盤として対象の状況に応じた業務の実践が出来る一般薬剤師への到達を目標としています。1年目に病院薬剤師として必要な基礎的知識・技能を集中して修得し、2年目以降は業務の実践を重ねることで病院薬剤師としての質的向上を目指します。



3 研修プログラム責任者の設置

薬剤部長

4 就労環境

(1)勤務病院の宿舎	あり(単身、世帯)
(2)薬剤師賠償保険	施設単位で加入済み
(3)学会、研究会等への参加	交通費等の支援制度あり
(4)勤務病院で指導薬剤師が取得している専門・認定薬剤師の資格	がん指導薬剤師(1名)、外来がん治療専門薬剤師(1名)、緩和薬物療法認定薬剤師(1名)、抗菌化学療法認定薬剤師(1名)、周術期管理チーム認定薬剤師(1名)、実務実習指導薬剤師(4名)、日本糖尿病療養指導士(1名)、NST専門療法士(4名)、スポーツファーマシスト(1名)、日本 DMAT(2名)、病院薬学認定薬剤師(4名)、その他
(5)取得可能専門・認定薬剤師	日病薬病院薬学認定薬剤師などの病院薬学系資格(資格によって施設要件が異なりますので、取得希望資格がある場合は、事前にご相談ください)

5 指導体制

OJT(on the job training)を行いながら、各部署の主任もしくは主任相当の薬剤師(専門・認定薬剤師等)が業務の修得状況に応じて適宜評価を行います。

6 プログラムの計画

1年目	病院薬剤師として必要な基本業務(調剤業務、無菌製剤、医薬品情報、抗がん剤調製など)を集中して研修します。
2年目	1年目で学んだ知識やスキルをさらに高め確実に身につけます。また、患者の治療に直接携わり病棟担当薬剤師としての実践を行います。
3年～9年目	業務の実践を重ね病院薬剤師としての質的向上を目指します。

(様式第 2 号)

	また、それまでの経験から自身の特性を見極め、より専門性の高い各分野の学会が認定する専門・認定薬剤師の取得を目指していきます。
--	--